

磐 越 自 動 車 道

小 出 地 区 仮 橋 健 全 度 調 査 業 務

特 記 仕 様 書

令和 7年 5月

東 日 本 高 速 道 路 株 式 会 社  
新 潟 支 社 新 潟 工 事 事 務 所

## 第1章 総則

### 1-1 履行内容

1-1-1 調査等名 磐越自動車道 小出地区仮橋健全度調査業務

1-1-2 路線名 東北横断自動車道 いわき新潟線

1-1-3 施行箇所  
自) 福島県耶麻郡西会津町野沢 (STA 723+38)  
至) 新潟県東蒲原郡阿賀町津川 (STA 943+24)  
自) 新潟県東蒲原郡阿賀町津川 (STA 519+19)  
至) 新潟県東蒲原郡阿賀町津川 (STA 523+35)

### 1-1-4 主な履行内容

内訳書の項目	数量	備考
現地踏査	1式	
業務計画書作成	1式	
外観調査	3橋	
図面作成(簡単)	10枚	
図面作成(普通)	21枚	
復元設計	3橋	
性能評価	3橋	
業務打合せ	1式	

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という)は、令和6年7月版とする。

### 1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム(以下「テクリス」という。)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日(以下「休日等」という。)及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- (1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- (2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- (3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確

認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

#### 1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1-13-1「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（様式 1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得日の翌日から 360 日間まで

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得日の翌日から 60 日間まで

#### 1-5 作業日に関する事項

共通仕様書 1-13-2「作業日」の規程による他、受注者は下表に示す期間は作業を行ってはならない。

やむを得ず作業を行う必要がある場合は、受注者は、事前にその理由を監督員等に連絡するものとする。

期間	対象作業	備考
令和 7 年 12 月 6 日～令和 8 年 4 月 7 日	外業を伴う作業	冬季休止期間

#### 1-6 資料の貸与

共通仕様書 1-15-1「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。

なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合の取扱いが監督員と受注者で協議の上、決定するものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
磐越自動車道 管理用図面	—	契約締結日の翌日より 7 日以内	電子データ
設計図	東北横断自動車道 小出地区工事用道路比較設計	契約締結日の翌日より 7 日以内	電子データ
報告書	磐越自動車道 小出工事用道路 工事報告書	契約締結日の翌日より 7 日以内	電子データ

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12月29日から翌年1月3日まで、夏季休暇（3日）を除く。

### 1-7 受注者相互の協力

共通仕様書 1-20 「受注者相互の協力」の「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知するものとする。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関
磐越自動車道 上川地区測量業務	令和6年10月 9日～ 令和7年12月 2日	(株)エイテック	東日本高速道路(株)
磐越自動車道 上川地区土質調査	令和6年10月24日～ 令和8年 2月15日	基礎地盤コンサル タツ(株)	東日本高速道路(株)
磐越自動車道 上川地区橋梁一般図作成	令和7年 4月 4日 令和8年 7月27日	(株)片平新日本技術	東日本高速道路(株)
磐越自動車道 小出地区構造物基礎調査	未定	未定	東日本高速道路(株)
磐越自動車道 上川地区構造物基礎調査	未定	未定	東日本高速道路(株)

### 1-8 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本調査等業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-16 「関係官公署及び関係会社への手続き」に従って行う協議以外である。また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに完了予定時期を変更する場合がある。

#### (1) 道路関係

位置 (S T A)	管理者名	必要な協議	協議完了 予定時期
小出工事用道路	阿賀町	道路使用	令和7年7月末
大平橋工事用道路	阿賀町	道路使用	令和7年7月末

### 1-9 計画工程表

#### 1-9-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1 「作業計画書の提出」(2)に示す作業計画書中の計画工程表(様式2)の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-6 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、本特記仕様書 1-8 「発注者または監督員が行う協議」に示す協議完了予定時期、共通仕様書 1-9-3 「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

項目	対象箇所	備考
現地踏査		
業務計画書作成		
外観調査	広手川仮橋 第二東小出川仮橋 第一東小出川仮橋	
図面作成	広手川仮橋 第二東小出川仮橋 第一東小出川仮橋 大平橋仮橋	
復元設計	広手川仮橋 第二東小出川仮橋 第一東小出川仮橋	
性能評価	広手川仮橋 第二東小出川仮橋 第一東小出川仮橋	
業務打合せ		

#### 1-9-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、調査等打合簿に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-1-4-3 「変更作業計画書」に基づき変更作業計画書を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いには監督員と受注者との協議の上定めるものとする。

#### 1-10 打合せ簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

#### 1-11 標準提出部数

共通仕様書 1-4-6-5 によらず、成果品の標準提出部数については、下表のとおりとする。

報告書及び図面の電子データについては、監督員に提出するものの他にそれぞれ 1 部を監督員の指示に従って、NEXCO 総研技術情報課へ提出し、NEXCO 総研の発行する成果品（電子データ）受領票の交付を受けなければならない。

なお、NEXCO 総研技術情報課への提出は郵送で行うものとし、成果品（電子データ）受領票については、NEXCO 総研より電子メールにより受注者へ送付されるものとする。

項目	監督員	NEXCO 総研	備考
報告書（紙）	1 部	—	
報告書（電子データ）	2 部	1 部	
図面（紙）	1 部	—	
図面（電子データ）	2 部	1 部	報告書（電子データ）と併せて提出

## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 現地踏査

#### 2-1-1 定義

現地踏査とは、外観調査に先立って行い、橋梁の変状（劣化・損傷等）程度を把握する他、橋梁の立地環境、交通状況、交通規制の要否、近接手段等について現場の概況の調査記録（写真撮影含む）を行う事をいう。

#### 2-1-2 数量の検測

現地踏査の数量の検測は、設計数量（式）で行うものとする。

### 2-2 業務計画書作成

#### 2-2-1 定義

業務計画書作成とは、実施計画書作成及び本特記仕様書2-3「外観調査」の計画・施工や補修計画の立案のための基礎資料作成を行う事をいう。

#### 2-2-2 数量の検測

業務計画書作成の数量の検測は、設計数量（式）で行うものとする。

### 2-3 外観調査

#### 2-3-1 定義

外観調査とは、橋梁上部工及び下部工を対象として橋梁点検車を使用し、目視及び打音点検を実施し、損傷状況とその要因に係る構造の状況を確認するとともに、補修検討に必要となる欠損範囲や減厚量をノギス等により計測し、様式3～6に基づき結果を取りまとめる事をいう。また、調査結果を本特記仕様書2-4「図面作成」により作成した図面に損傷個所を記載する事をいう。

#### 2-3-2 種別

外観調査の種別は、下記のとおりとする。

外観調査の実施にあたり、作業に必要となる図面は参考図を基に作成し、これに要する費用については外観調査に含むものとする。

下部工において減厚が確認された場合は、監督員にこれを報告するものとし、その後の取扱いについては監督員と受注者との協議し定めるものとする。

項目	対象箇所	調査範囲	調査方法	備考
外観調査 A	小出工事用道路 広手川仮橋	A 1 - A 2 間	上部工：橋梁点検車による目視及び減厚量測定 下部工：近接及び遠方目視	調査日数 2 日を想定
外観調査 B	小出工事用道路 第二東小出川仮橋			調査日数 2 日を想定
外観調査 C	小出工事用道路 第一東小出川仮橋			調査日数 2 日を想定

※上部工には覆工板及び手摺り等附属物を含むものとする。

### 2-3-3 成果品

外観調査の成果品は、下記のとおりとする。

設計種別	成果品項目	様式名	出力用紙の大きさ	尺度	提出部数	摘要
外観調査	点検記録様式	様式 3-1, 3-2	A 4		1	
	損傷一覧	様式 4	A 4		1	
	調査写真台帳	様式 5	A 4		1	
	損傷位置図	様式 6	A 4		1	

### 2-3-4 数量の検測

外観調査の数量の検測は、設計数量（橋）で行うものとする。

## 2-4 図面作成

### 2-4-1 定義

図面作成とは、既往資料及び外観調査に基づき、図面を作成する事をいう。

### 2-4-2 種別

図面作成の種別は、下記のとおりとする。

項目	図面種類	対象箇所	枚数	作成難易度	簡易な応力計算	備考
図面作成（簡単）	一般図	広手川仮橋	3	簡単	無	既往資料：有 （紙資料）
		第二東小出川仮橋	3	簡単	無	
		第一東小出川仮橋	3	簡単	無	
		大平橋仮橋	1	簡単	無	
図面作成（普通）	断面図 詳細図等	広手川仮橋	7	普通	無	既往資料：無
		第二東小出川仮橋	7	普通	無	
		第一東小出川仮橋	7	普通	無	

### 2-4-3 数量の検測

図面作成の数量の検測は、設計数量（枚）で行うものとする。

## 2-5 復元設計

### 2-5-1 定義

復元設計とは、既設構造物において既往資料及び外観調査結果等を用いて応力度等を復元させる設計をいう。

### 2-5-2 種別

復元設計の種別は、下記のとおりとする。

項目	対象箇所	対象範囲	備考
復元設計 A	小出工事用道路 広手川仮橋	A 1 - A 2 間	
復元設計 B	小出工事用道路 第二東小出川仮橋		
復元設計 C	小出工事用道路 第一東小出川仮橋		

### 2-5-3 類似構造物の取扱いによる設計区分

類似構造物の取扱いとは、当該設計業務において、設計する構造種別が同一な場合に適用するものとし、内訳書に示す区分とその作業内容は共通仕様書 5-7-6 「類似構造物の取扱いによる設計区分」に規定するものとする。

橋梁の各部位に対する類似区分は下表のとおりとする。

項目	復元設計 A	復元設計 B	備考
橋梁名	広手川仮橋	第二東小出川仮橋	
上部工形式	鋼上路式組立トラス橋	鋼上路式組立トラス橋	
上部工	区分：A	区分：B	広手川仮橋を基準とする
下部工	A 1	区分：B	広手川仮橋 A 2 橋台を基準とする
	A 2	区分：C	
下部工	P 1	区分：B	広手川仮橋を基準とする

項目	復元設計 C	備考
橋梁名	第一東小出川仮橋	
上部工形式	鋼単純鈹桁橋（2 連）	
上部工	区分：A	
下部工	A 1	A 2 橋台を基準とする
	A 2	
下部工	P 1	

### 2-5-4 数量の検測

復元設計の数量の検測は、設計数量（橋）で行うものとする。



## 2-5-5 成果品

復元設計の成果品は、下記のとおりとする。

設計種別	成果品項目	様式名	出力用紙の大きさ	尺度	提出部数	摘要
復元設計	設計計算書		A 4		1	

## 2-6 性能評価

### 2-6-1 定義

性能評価とは、既設構造物において復元設計及び外観調査の損傷部位を確認し、結果を基に耐荷性能の応力照査を行い、様式7に基づき結果をとりまとめる事をいう。

### 2-6-2 種別

性能評価の単価表の項目の種別は、下記のとおりとする。

項目	対象箇所	対象範囲	備考
性能評価 A	小出工事用道路 広手川仮橋	A 1 - A 2 間	
性能評価 B	小出工事用道路 第二東小出川仮橋		
性能評価 C	小出工事用道路 第一東小出川仮橋		

### 2-6-3 数量の検測

性能評価の数量の検測は、設計数量（橋）で行うものとする。

### 2-6-4 成果品

性能評価の成果品は、下記のとおりとする。

設計種別	成果品項目	様式名	出力用紙の大きさ	尺度	提出部数	摘要
性能評価	応力照査結果	様式7	A 3		1	

## 2-7 業務打合せ

本業務における業務打合せは、下記のとおり行うものとする。

- (1) 業務着手時及び業務完了時には管理技術者が立ち会うこと。
- (2) 打合せ場所は、東日本高速道路株式会社新潟支社新潟工事事務所で行うものとする。ただし、打合せ方法及び場所等の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。
- (3) 打合せの回数は業務内容確認検査を含め6回（当初打合せは現地踏査に含むものとし、除くもの）とする。打合せの検測数量は1式とし、履行行状況により打合せ回数が増減しても打合せ費用の変更は行わないものとする。  
ただし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いは監督員と受注者とで協議の上定めるものとする。

## 2-8 交通保安要員

### 2-8-1 定義

交通保安要員とは、一般道において一般通行車両及び調査関係者の安全を確保することを目的として、交通の監視及び誘導のために配置する事をいう。

### 2-8-2 種別

交通保安要員の種別は、下記のとおりとする。

項目	内容
交通誘導警備員 B	土木工事共通仕様書 19-4-2「種別」による、警備業者の警備員で交通誘導警備員 A 以外の交通の誘導に従事するもの

項目	対象箇所	配置人数	交代要員	備考
交通誘導警備員 B	小出工事用道路	1 人	—	橋梁点検車を伴う作業時

### 2-8-3 交通保安要員計画

監督員が追加の交通保安要員の配置を指示した場合、これに要する費用については、監督員と受注者との協議し定めるものとする。

### 2-8-4 数量の検測

交通保安要員の数量の検測は、設計数量（人・日）で行うものとする。

## 2-9 橋梁点検車

### 2-9-1 定義

橋梁点検車とは、外観調査の作業時において、作業足場として橋梁点検車を配置する事をいう。

### 2-9-2 種別

橋梁点検車の種別は、下記のとおりとする。

項目	内容
橋梁点検車	1) 橋梁点検車（作業高約 6m、積載質量 200 kg 程度）（1 台）の日当たり損料、燃料費 2) 運転手（特殊）1 名、運転手（一般）1 名の労務費 3) 基地から現場までの回送費（往復分）

### 2-9-3 橋梁点検車計画

監督員が追加の橋梁点検車の配置を指示した場合、これに要する費用については、監督員と受注者との協議し定めるものとする。

また、受注者は橋梁点検車実施報告書を作成し、監督員に提出するものとする。

### 2-9-4 数量の検測

橋梁点検車の数量の検測は、設計数量（台・日）で行うものとする。

## 2－10 成果品

報告書の表紙は、薄青色（色番号SP－278）、黒文字製本とする。

## 第3章 補足事項

### 3－1 調査内容の変更及び追加について

下記に示す事項については、本業務の内容を変更・追加する場合があるので、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。

なお、これらに要する費用及び履行期間は監督員と受注者とで協議の上定めるものとする。

#### （1）点検結果による追加調査

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 支社（事務所）  
支社長（所長） 殿

住所  
会社名  
代表者

## 履行期間通知書

（調査等名）

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

## 記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2-1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（1. 契約保証取得の日の翌日）

2-2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（1. 契約保証取得の日の翌日）

3-1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3-2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3-3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（1. 契約保証取得の日の翌日）

（3-2. 受注者が設定した業務の終期）

以 上

様式2

[illegible]

点検記録様式(その1) 橋梁の諸元と定期点検総合結果 (1/2)										起点側緯度		緯度		終点側緯度		緯度		施設ID									
フリガナ 橋 梁 名						路 線 名						管 轄		地方整備局				橋梁コード									
所 在 地		自						距 離 標		自						管 轄		事務所		調書更新年月日							
		至								至								出張所									
供用開始日				橋長				活荷重・等級		等橋				適用示方書													
上部構造形式						幅員		全 幅 員				地覆幅		歩道幅		車道幅・車線		車道幅・車線		歩道幅		地覆幅		中央帯		中央 分離帯	
								有 効 幅 員																			
下部構造形式						代替路の有無				自専道or一般道				緊急輸送道路				交通条件		調 査 年							
								路下条件				占用物件(名称)				交 通 量				台							
								備考						大型混入率		%											
基礎形式						荷重制限								実 施 年													
												制 限 重 量		t													

定期点検総合結果

告示に基づく 健全性の診断 の区分	対応や調査の必要性		定期点検総合結果に関する補足		
	E	S1			
	M	S2			

点検記録様式(その1) 橋梁の諸元と定期点検総合結果 (2/2)
-------------------------------------

起点側	緯度		終点側	緯度		施設ID	
	経度			経度			

フリガナ 橋 梁 名		路 線 名		管理者		橋梁コード	
---------------	--	-------	--	-----	--	-------	--

性能の評価結果		現地確認年月日		橋梁診断員(所属、氏名)			
	想定する状況における各構成要素等の状態の評価						
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他
橋(全体として)							
上部構造		写真番号		写真番号		写真番号	写真番号
上下部接続部		写真番号		写真番号		写真番号	写真番号
下部構造		写真番号		写真番号		写真番号	写真番号
その他(フェールセーフ)		写真番号		写真番号		写真番号	写真番号
その他(伸縮装置)		写真番号		写真番号		写真番号	写真番号

橋梁診断員所見

## 様式4

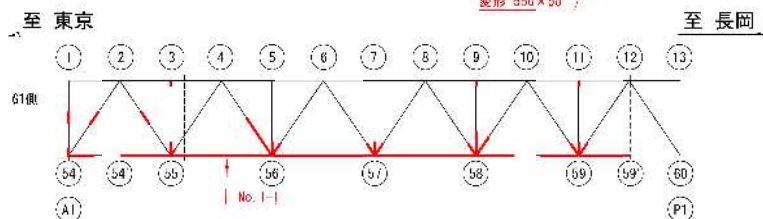
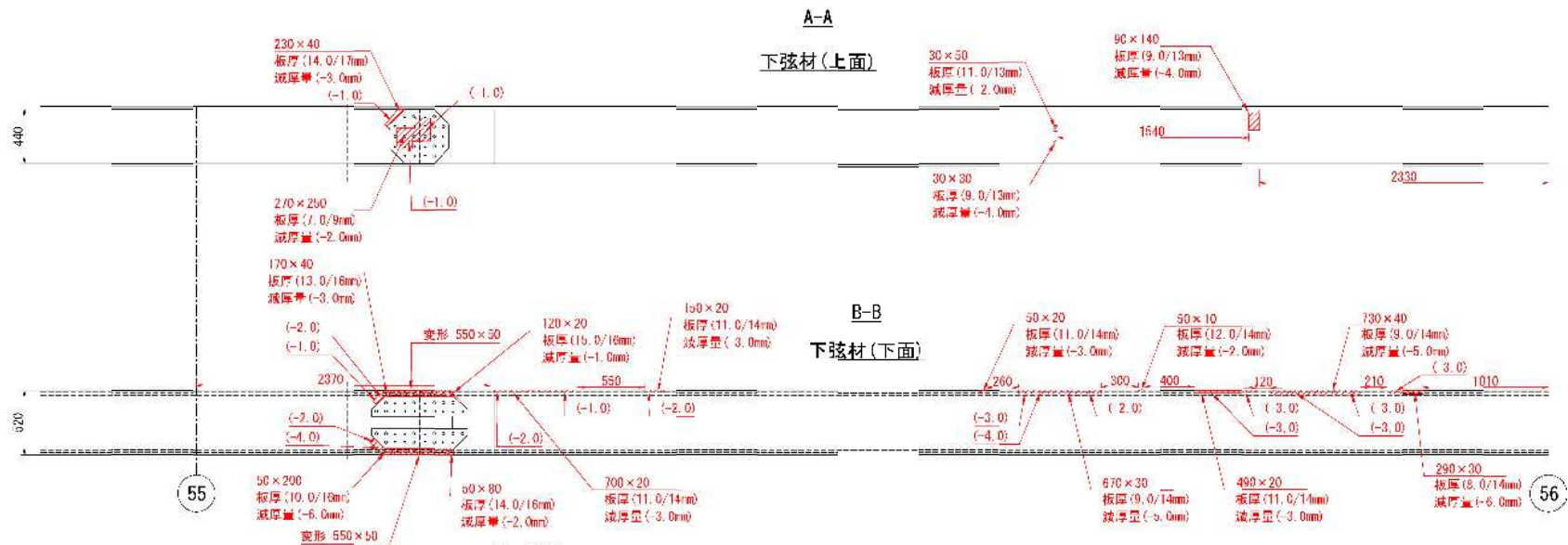
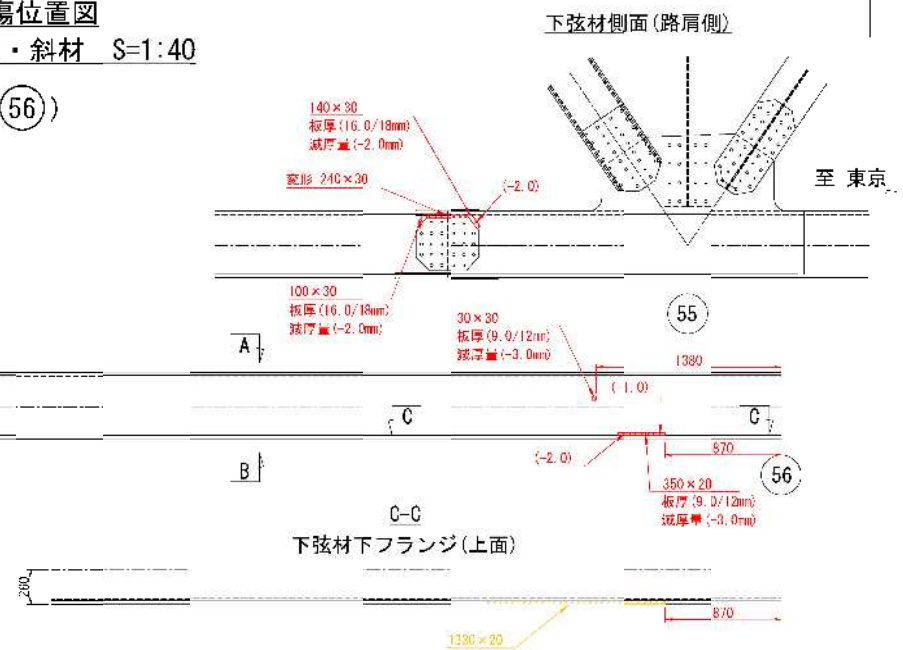
## 損傷一覽（〇〇橋）

[illegible]






名 称	〇〇橋							
路線名	〇〇自動車道		〇〇IC～〇〇IC		調査最終日		〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	
構造形式	4径間連続トラス橋(2連)		橋 長	648.00 m	径間数	8	架設年	1985年
							塗装年	1997年
損傷No.	径間番号	部材名	位置	損傷No.	径間番号	部材名	位置	
1-1	1	G1下弦材	55-56	1-1	1	G1下弦材	55-56	
メ モ	ウェブ、添接板に減厚を伴う腐食及びナットの減厚が見られる			メ モ	ウェブに減厚を伴う腐食及び下フランジPL端に軽微な腐食が見られる			
損傷No.	径間番号	部材名	位置	損傷No.	径間番号	部材名	位置	
1-1	1	G1下弦材	55-56	1-1	1	G1下弦材	55-56	
メ モ	ウェブに減厚を伴う腐食及び添接板に変形が見られる			メ モ	上フランジ及び添接板に減厚を伴う腐食が見られる			
損傷No.	径間番号	部材名	位置	損傷No.	径間番号	部材名	位置	
1-1	1	G1下弦材	55-56	1-1	1	G1下弦材	55-56	
メ モ	上フランジに減厚を伴う腐食が見られる			メ モ	上フランジに減厚を伴う腐食が見られる			

(55-56)



※( )は減厚量を示す  
※測定厚は、代表減厚を表記。  
その他の測定厚は写真台帳を確認のこと。

 : 新築範囲(元表裏面)  
 : 新築範囲(減厚)  
 : 新築範囲(欠損)

[illegible]

下弦材G1 応力照査結果 その1

下弦材G1		A1																										P1								
格点		54					55	55		56	56				57	57				58	58			59	59			60	60			61				
照査位置番号							1	2		3	4	5				6	7	8		9	10	11		12												
上Flg	幅 (mm)	440	440	440	440	440		440	440	440	440	440	440	440	440	440	440	440	440	440	440	440	440	440	440	440	440	440	440	440	440	440				
	板厚 (mm)	25	25	25	17	17			13	13	19	19	15	15	15		15	12	12	12	10	10	10	10	22	22	22	22	22	22	22	22				
Web	高さ (mm)	450	450	450	450	450			450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450				
	板厚 (mm)	28	22	22	22	18			12	14	14	18	14	14	14		14	10	10	20	20	11	24	24	24	20	20	32	22	22	22	22				
下Flg	幅 (mm)	520	520	520	520	520		520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520				
	板厚 (mm)	25	25	25	16	16			14	14	17	17	15	15	15		15	13	13	13	10	10	10	10	22	22	22	22	22	22	22	22				
断面積 (mm2) 合計		49,200	43,800	43,800	35,600	32,000		23,800	25,600	29,800	33,400	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	21,040	21,040	30,040	27,600	19,500	31,200	31,200	42,720	39,120	39,120	49,920	40,920	40,920	40,920	40,920	40,920				
材質		SM570	SM570	SM570	SM490Y	SM490Y		SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM400	SM400	SM400	SM400	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y				
軸力 (N)	引張	2,145,220					4,787,300					5,489,960					4,263,980					1,255,380														
	圧縮																					-1,355,340					-5,439,000					-5,537,000				
応力 (N/mm2)	引張	43.6	49.0	49.0	60.3	67.0	149.6	201.1	187.0	184.2	164.4	203.3	203.3	203.3	157.9	157.9	202.7	202.7	141.9	45.5	64.4	40.2	40.2													
	圧縮																				-49.11	-69.5	-43.44	-43.4	-127.3	-139	-139	-109	-110.9	-135.3	-135.3	-135.3				
許容応力 (N/mm2)	引張	255.0	255.0	255.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	140.0	140.0	140.0	140.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0				
	圧縮																				84.9	88.3	82.8	84.9	155.6	155.3	155.3	152.5	152.5	156.5	156.7	156.9				
腐食減厚量	上Flg	幅 (mm)					230	140		170	160	100				350	20	50		300	340	320		160								70				
		減厚 (mm)					-3	-4		-5.5	-3	-5				-4	-7	-4		-5.5	-3	-9		-7.1								-5				
	Web	幅 (mm)					140									250		30			180															
		減厚 (mm)					-2									-2		-3			-4															
	Web	幅 (mm)					150										20	30			190	20								160	90	60				
		減厚 (mm)					-1										-7	-3			-2	-2							-4.4	-4.4	-5.3					
	下Flg	幅 (mm)					370	20		160						310						370	50								60	60	60			
		減厚 (mm)					-4.6	-3		-2.8						-3.5						-4.6	-5.2							-6.5	-6.5	-3				
	面積 (mm2)		0	0	0	0	-2822	-620	0	-940	-920	-500	0	0	0	-2985	-280	-380	0	-1650	-3822	-3180	0	-1136	0	0	0	0	0	-1094	-786	-848	-848			
腐食部応力 (N/mm2)	引張	43.6	49.0	49.0	60.3	67.0	164.1	206.5	187.0	190.2	169.0	207.2	203.3	203.3	157.9	177.6	205.4	206.4	141.9	48.4	80.1	44.8	40.2													
	圧縮																				-52.2	-86.4	-48.4	-43.4	-130.8	-139.0	-139.0	-109.0	-110.9	-139.0	-138.0	-138.2				
判定	引張	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok				
	圧縮																			ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok	ok				

※灰色着色部：本年度補修設計範囲外

